

令和 7 度 認定こども園わかば幼稚園 自己評価標

%

項目	評価内容	5	4	3	2	1
保育の計画性	*園の理念、目標、方針を十分に理解し、保育計画等の話し合いがされている。	27.2	27.2	45.6		
	*活動が豊かになりように安全に配慮し、活動の展開に応じた環境構成がされている。	27.2	45.6	27.2		
	*主体的に関わりたくなるような雰囲気の中、子どもたちの発想を柔軟にとり入れている。	27.2	54.5	15.1	3	
	*土と触れ合ったり、自然について興味を持てるような指導計画が組まれている。	15.1	48.5	36.4		
	*四季を感じられるよう、季節の変化に応じた環境構成がされている	33.3	48.5	15.1	3	
反省評価	*やらされている感じでは無く、楽しんでいろいろな活動ができたと思える。 *主体性のある活動、子どもたちの声を聞きながらの活動が少しづつできたと思える。 *行事の見直しにより、ゆとりができ、いろいろな楽器遊びや、戸貝遊び等多くできたと思える。 *主体的活動を展開する工夫等まだまだ身に着けることが必要。					
教師としての資質	*教師として服装・言葉使い等に気をつけている。	24.2	54.5	21.2		
	*子どもたちの手本となり、正しい姿勢・言葉使いを心がけている	24.2	48.5	27.2		
	*子どもたちが「ありがとう」「ごめんね」等が素直に言えるよう、子どもたちにも、言葉で「ありがとう」「ごめんね」を伝えている。	48.5	45.5	6.1		
	*子どもたちの表情を読み取り、言葉に表れない思いを読み取る。	33.3	42.2	24.2		
	*全ての子どもたちへの声掛けを心がけている。	45.5	39.4	15.2		
	*クラスはもとより幼稚園内外の清掃・整理に気をつけている。	30.3	30.3	39.4		
	*楽しい雰囲気の中で正しい姿勢で食事が出来るような環境を心がけている。	36.4	45.5	18.2		
	*戸外遊び、室内遊びともに、子どもと一緒に遊んでいる。	36.4	51.5	9.1	3	
	*組織の一員として、自己管理には注意をはらっている。	39.4	33.3	24.2	3	
	*幼稚園での様子を連絡ノート・クラス便り、緊急の場合等は電話等へ連絡、子どもについて理解を共有し、家庭と連携をとっている	45.6	27.2	27.2		
	*園の方針や自分の考えを保護者に伝えたり、保護者からの相談等聞ける体制ができている。	42.4	33.3	24.2		
	*クレーム等の対応には十分気をつけ、主任・園長に報告し指示を受けているか。	48.5	33.3	18.2		
	*怪我や急の発熱等に対して、保護者に適切な対応がとれている。	48.5	30.3	21.2		
	*教師と保護者の関係は、公平さをもって接触している。	33.3	36.4	30.3		
*すべての保護者に隔たり無く、声を掛けたりノートを書いたり出来ているか。	30.3	36.4	30.3	3		
*子どもたちの人格・名前を尊重し、呼び捨てはしない。	12.1	33.3	51.5		3	
反省評価	*抽象的な言葉かけでなく、具体的な言葉かけを心がけてきたが、まだまだ、その場にあった言葉が必要であった。 *園では、保育教諭だけでなく、おかあさんになることを心掛けた。 *忙しさを理由に十分の言葉かけができていなかった気がする。 *子どもたちとの信頼関係が増えると同時に、親しみから呼び捨て等がでてしまった。					
研修と研究	*自然を保育に取り入れるため、草花や作物等の知識を高めるようにしている。	9.1	36.4	39.4	15.1	
	*積極的に研修会・研究会・公開保育に参加している。	6.5	16.2	51.6	16.2	9.7

	*可能な範囲で、他クラスの保育を見学し、保育についての話し合いがされている。	15.6	21.9	56.3	6.2	
	*自分の保育のあり方を振り返り、他の先生に相談したりして、目を高めている。	26.7	43.3	26.7	3.3	
	*幼小連携についても、進んで研究・研修している。	3.4	17.2	48.3	27.6	3.4
	*研修等の報告は行っている。	16.1	22.6	45.2	6.5	9.7
反省評価	<ul style="list-style-type: none"> *長時間保育の子たちが増え、研修会への参加が難しくなっている。 *「報連相」を実行しているつもりだが、まだまだ足りない点が多かった。 *職員間の情報共有がうまくいかないことがあったが、細かなことも伝え合えた。保育者間の連携を強く感じた。 					
次年度への抱負	<ul style="list-style-type: none"> *子供たち同士のかかわりが広がるよう寄り添ながらの保育実践。 *未満児・以上児どちらにとっても、園は安心できる場であり、安全な場でなければならない。 *無駄のない時間配分、及び保育士同士の話し合い、報連相をしっかり行っていく。 *失敗しても、やってみようの気持ちを大切にいろいろな活動保育に取り組んでいきたい。 *外国籍の子どもたちが増えていく中で、保護者への伝え方や、その国の風習等の理解。 *自分発信ができるよう帰りの会での、振り返り、気が付いたことを話し合ってみる。 *気持ちに余裕！抽象的でなく具体的な指示や具体的な言葉で伝える。 					

